



馬場を一周するとこの笑顔

第1回障害者体験乗馬教室 気分はすっかり馬術選手

心身障害者にもスポーツとしての乗馬を楽しんでもらおうと、第1回障害者体験乗馬教室が、11月23日、荒海の日本障害者乗馬協会サイトウ乗馬苑で開催されました。シドニーパラリンピック馬術選手の模範乗馬が終わると、今度は子どもたちが補助員に付き添われて次々馬へ。最初は、大きな馬に尻込みしていましたが、馬場を一周するころにはすっかり馬術選手の顔になっていました。

第22回成田市小中学生ロードレース大会 各校の代表504人が健脚を競う

市内の小中学生が健脚を競うロードレース大会が、12月5日、中台運動公園で開催されました。雨で1日順延となりましたが、小学5年生から中学3年生までの男女504人が参加。沿道の親たちの声援を受けながら、ニュータウン内のコースを元気良く走り抜けました。各部門の優勝者は次のとおりです。(敬称略)

小学5年男子	桑元裕大(成田小)	小学5年女子	林田恵実(平成小)
小学6年男子	高橋純(成田小)	小学6年女子	足立沙織(成田小)
中学生男子	石井勇紀(中台中)	中学生女子	山本梨永(玉造中)



声援を受けながら力走する選手たち

消防団林野火災防御訓練 全分団が参加し 市内3カ所で大実施

広範囲に燃え広がる林野火災に対し、消防団各部が連携して素早く対応できるようにと、12月2日、小菅、芝、大竹の3カ所を会場に消防団林野火災防御訓練が行われました。この訓練のポイントは複数の消防団同士のホース中継。見事な連携で送られた水は火点の山林目掛け一斉放水されました。



坂田ヶ池総合公園(大竹)での一斉放水

中継に入る消防車(芝)



敬宮愛子さまご誕生 師走の町にお祝いの山車

敬宮愛子さまのご誕生をお祝いしようと、12月9日、花崎町と囀護台の山車が繰り出し、JR成田駅周辺や参道を練り歩きました。通行人や観光客も時ならぬ祭り囃子に驚いた様子でしたが、山車の「慶祝愛子さまご誕生」の文字を見て納得。お祝いの樽酒が振る舞われたり、紅白のちょうちんが配られたりと、師走の参道はお祝いムード一色に包まれました。



嵯峨天皇も祝福する囀護台の山車 (JR成田駅西口で)



お祝いの人波の中を進む花崎町の山車

山車の後ろにはお祝いの垂れ幕も (花崎町)

安西でギネス級 サツマイモ

孫娘の涼子ちゃんと久米さん夫妻



子どもが抱いている奇妙な物体が何か分かりますか。実は重さが8kgもあるギネス級のサツマイモ (ベニアズマ) なのです。収穫したのは安西の久米彰、みつさん夫妻。このイモは産業まつりの農産物共進会の会場にも出品され話題をさらいました。

寝たきりを防ごうと活動している公津地区あおぞら会と平成小学校4年生の交流会が、11月29日並木町公民館で行われました。今回は竹を使った「ぶんぶんゼミ」作り。子どもたちに作り方を教えながら、一緒に作業に取り掛かります。出来上がったぶんぶんゼミから音が出始めると、会場は子どもたちの歓声に包まれました。



回すとブーンという音が



作り方を教える会員

公津地区あおぞら会 小学生との 交流会で ぶんぶんゼミ作り